

明日の  
桜色




ADULTS  
成人向  
ONLY











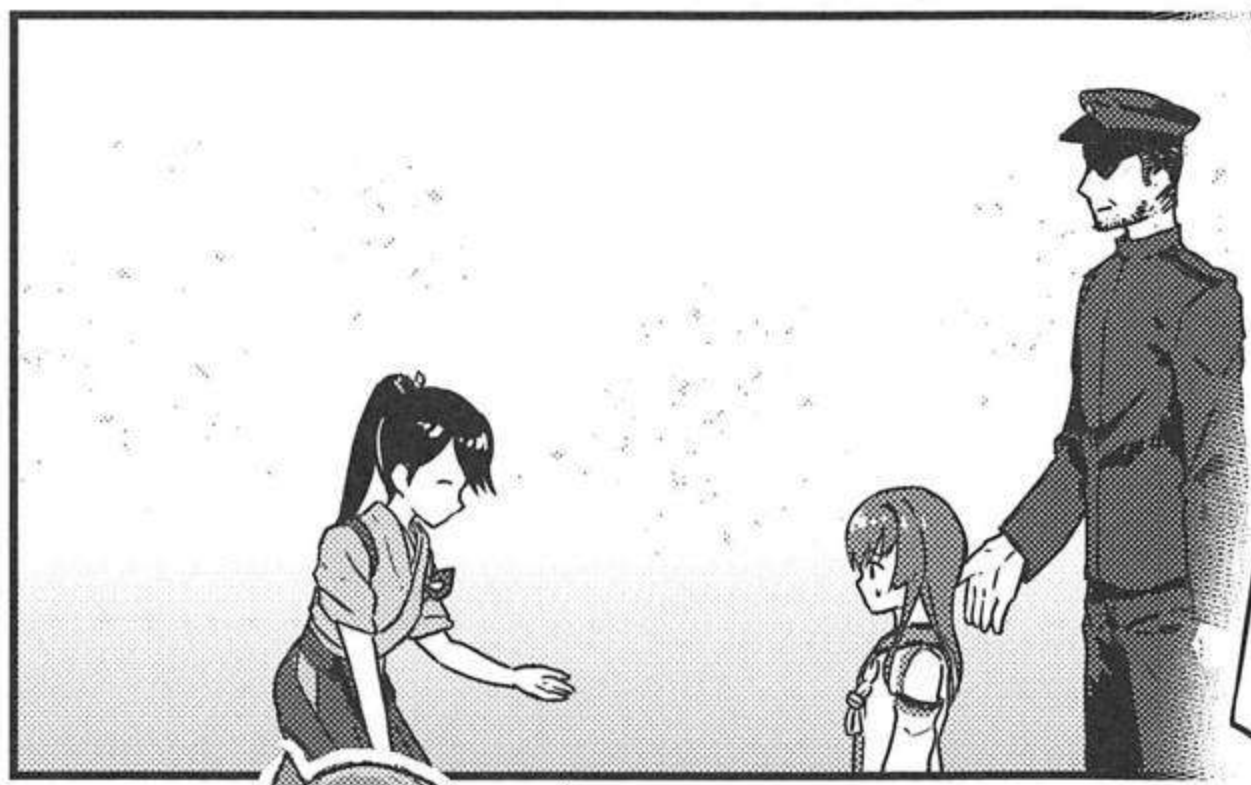
鳳翔、この子は大和だ  
彼女の存在はまだ機密  
扱いだが、世話はお前  
に任せた



ふふ、恥ずかし  
がり屋さんですね、  
大丈夫よ



これから  
よろしくね、  
大和ちゃん





あれは小さい頃の  
事だった。  
人見知りの私は

初めて鳳翔さんと会う  
とき不安で一杯だったが  
その暖かい笑顔と掌はとても  
心地よかったと思った

それから  
私はずっと鳳翔さんと  
一緒に居た

そして、  
少しずつ提督と鳳翔さん  
の関係を知っていた





彼らにはあんなことをしている。  
あのような鳳翔さんは見た  
ことがなかったから、  
私はつい覗いてしまっていた

大人になったら  
私もこんな風に  
鳳翔さんを抱ける  
のかな…

この気持ちは何なのかよく  
分からなかった、分かって  
るのは、提督が来たら  
私と鳳翔さんの時間が  
無くなることだけだった

あゝ

ハア

ハア


ハア

あゝ






うっふふ、  
本当に甘えん坊  
さんだね



鳳翔さん…  
抱きしめて  
くれませんか

鳳翔さんは  
私に言った  
私は提督の艦娘で、  
艦隊の未来だって

彼女は私が提督に従う  
立派な艦娘になること  
を期待している  
艦娘としてそれは当た  
り前なことだったけど



それは今の私にとって  
どうでもよかった  
私はただ鳳翔さんと  
一緒に居る時間を  
楽しただけだ



私の成長は早かった  
演習で優秀な成績を  
とることで提督と  
大本営も満足した

でも私が一番  
気になるのは  
やっぱり鳳翔さんだ

…頭撫で  
欲しいです

すごい背伸びたわね、  
手が届かなく  
なっちゃいそう！

鳳翔さん…！

大和ちゃんは  
もう立派な艦娘に  
なったね





鳳翔さんは提督の恋人ですか？

あら、どうしたの？  
お年頃になったかしら

提督はいつも夜に鳳翔さんと会ってますよね、だからあの…  
確かめたいだけです…

私の親愛なる提督だからね、

私もいつか、そうしないとだめですか？

でも私、心に決めた人がいます…

ふふ、  
「必ずしも」な訳じゃないよ

夜で提督に奉仕するのも秘書艦の仕事よ

あら…  
聞いてもいいかしら





私も鳳翔さんと  
そっついことしたいです



鳳翔さん



えっ?こ、  
これは...

...お願いです、  
この気持ちに  
ケリを付けないと、

私は...提督に従う  
ことができない  
かもしれません...



すまぬ...



...



しばらく沈黙の後、  
鳳翔さんは服を脱いだ  
彼女は今何考えてるの  
分からないけど

提督に完全服従する  
艦娘だということは  
分かった

もみ

ちゅ

もう始まったのか





…提督！  
これはっ

いいよ  
いいよ

大和にも混じ  
ってもらおう

いえ…



へえ…行つていい  
つてなんて言つて  
ないんだがな

まあ、お前には触ら  
なくてもいいよ  
俺は心優しい提督だし、  
無理やりはしないさ



結構です、

お先に失礼します  
提督はどうぞ  
ごゆっくり









けど大和よ  
俺たち海軍はお前に  
とんでもない額を  
つき込んでいるよな

そんなお前は  
命令に従わないと  
困るよ

俺にやらせるとか  
なんて言わないが



返事は？



はい



出入り口で見張り  
くらいはできるだろう  
行為中に邪魔される  
の好まない

しゅっ

しゅっ









そこに横たわれ



かわいいだろ...  
俺の鳳翔



んっ...はあ



ちゅぷ

鳳翔って  
本当にいい女だ...



ズ  
ズ



私を見ないで...

そうだよな? 大和



ズ  
パッ





恥ずかしがらない  
でよ、鳳翔

ふふ、その  
大和ちゃんがお前に  
向いたのは家族愛  
じゃなそそっけどな

うっ

…大和ちゃんは私にとって  
娘のような存在だから…  
こんな見られて、  
本当に恥ずかしいです…

ズググ

ビクッ

ビクッ

ズググ

ズググ





はあ

ズッ

あ

あ

はあ

あ

パッ

パッ

ほら、この  
たまらない顔見ろよ

はあ

あ



はあ

パッ

はあ

はあ

あ

提督、  
そっち、やだっ

ズッ

ズッ





私はこんな鳳翔さん  
から目をそらすことが  
できなかった

すべてが歪んでいる







はあっ

あっあ



はあ

はあ

はあ

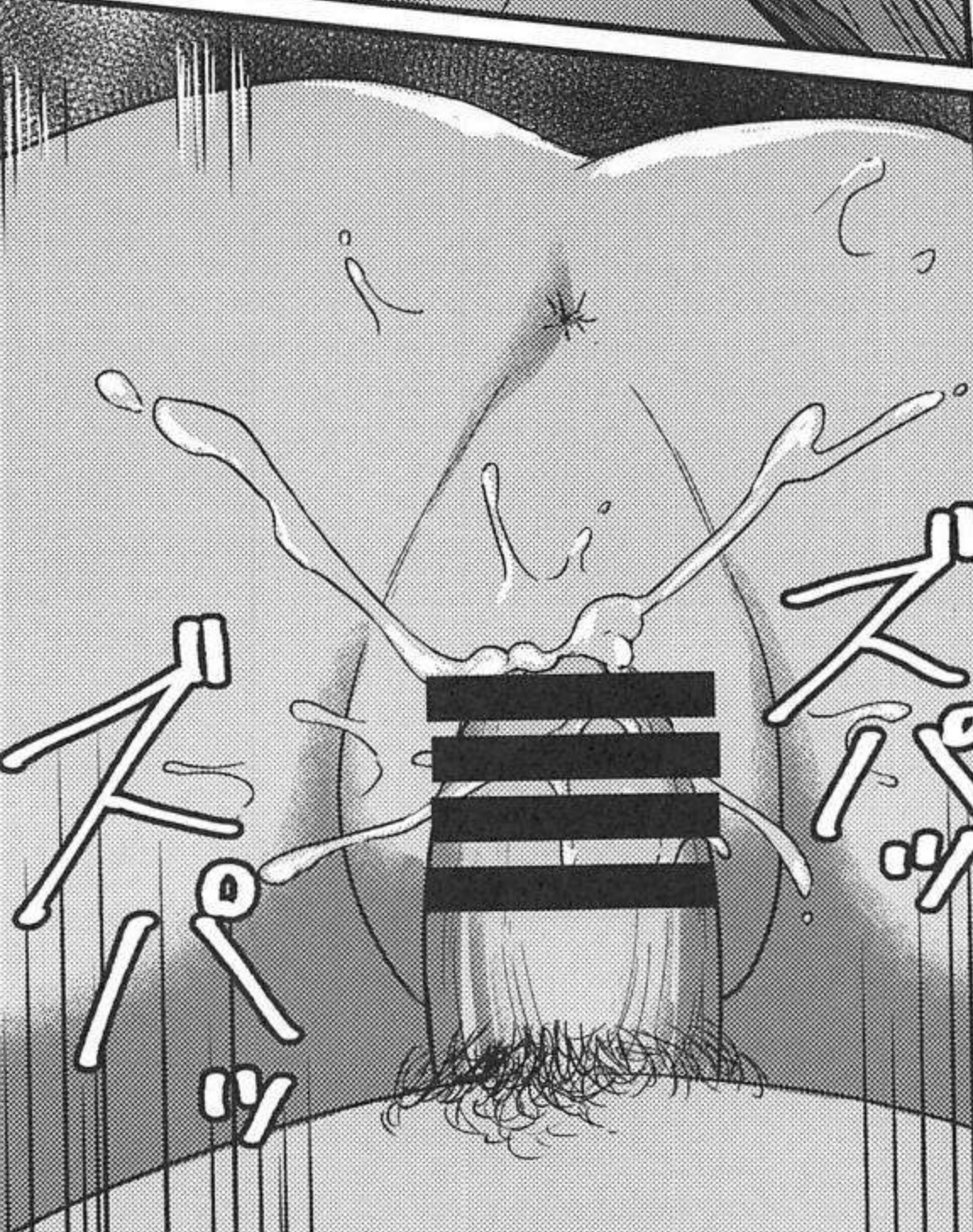


ああ

んあ

やあん

しゅわん



はあ

はあ

はあ

はあ





ああ

あ

あああ

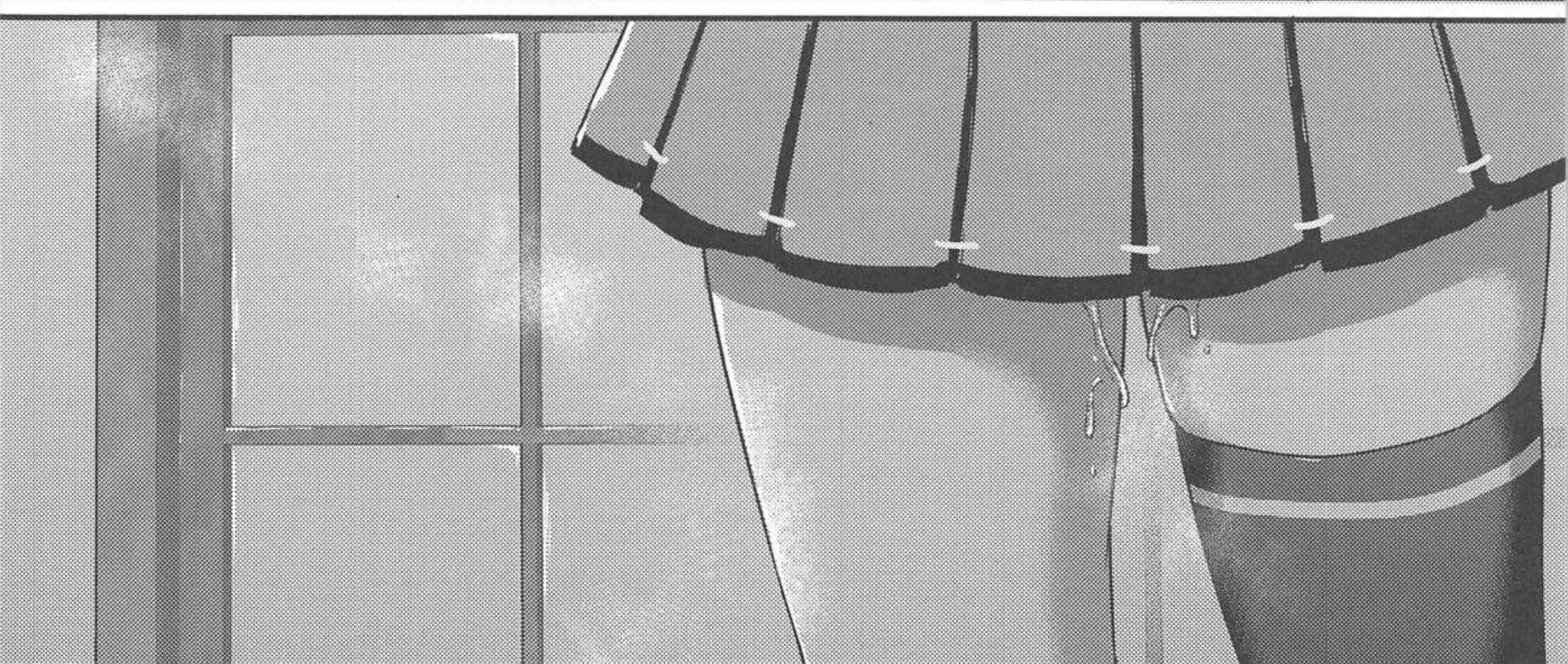
あ

あ

あ

あ









あるかみかど様依頼の鳳翔抱き枕カバーです



## 後書き

友人に「NTR 本描いてみてよ！」って提案されたので  
今まで触ることない題材に挑戦しよと決めました  
こういう題材描くの初めてだし、  
NTR のために NTR する (?) のも嫌だからすごく悩んで  
3 人間とも緊密な関係を持って、  
一人ひとりの立場が確立している話を描きたいなと思いました

幸せな過去の原点に戻りたいのなら、代償を払う必要がある  
たぶんこんな感じかな

次回はハッピーエンドで終わりたいです！

読んでくださった皆さんありがとうございました。

## 明日の桜色

発行： Bird Forest

@ 2018.12.31 (ComicMarket95)

発行者： 梶森

Twitter： @fukuroumori

Pixiv： 132878

Mail： h886187@gmail.com

印刷： 関西美術印刷様

Special Thanks

翻訳協力： 日辻ナタ様 (Twitter: @narcotice)

日本語校正協力： ひー様 (Twitter: @61he80)



KANCOLLE FAN BOOK 2018  
by fukuroumori

